

the most beautiful
villages
in japan

喜界町は「日本で
最も美しい村」連合
に加盟しています。



広 報

平成25年 (2013年)

きかい

4

No.550

地域ブランドの確立に向けて ～「潤命草」加工施設操業開始～

表紙説明

喜界島薬草普及協会は3月15日、阿伝小学校跡地に加工施設を開設した。ボタンポウフウ（サクナー）を使った食品添加物や栄養補助食品などの製造・販売を手がける。同協会は、「潤命草」と商標登録された喜界産「ボタンポウフウ」で、喜界島ブランドの確立を目指す。

CONTENTS

平成25年度施政方針演説 P 2	すこやかニュース P15	町からのお知らせ P19
「第1回」卒業・卒園式 P10	教育委員会のとびら P16	おおきなあれ 他 P22
シマの話題 P12	くらしの情報 P18	くらしのカレンダー P24

「小粒でもキラリと輝くいい島」実現に向けて

～平成25年度施政方針演説～



3月7日に開会された「平成25年第1回町議会定例会」での平成25年度施政方針演説の全文を掲載します。

※施政方針演説とは、今後1年の町行政の柱となる基本施策及び各分野の方針について、町長が町議会をとおして町民に表明することです。

平成25年第1回喜界町議会定例会の開催にあたり町政運営の基本方針について所見を申し上げ、町民の皆様はじめ、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年の我が国は、低迷する経済から抜け出さなまま政権交代となりましたが、東日本大震災からの復興、円高・デフレ、人口構造の激変などの大きな問題をかかえています。

本町におきましても相次ぐ台風襲来によりサトウキビは昨期に続き大幅な減収が見込まれており、ゴマやその他の農作物にも大きな被害が生じ、本町経済に与える影響を危惧しているところでございます。

政府の経済見通しによりますと、平成25年度の日本経済は、輸出環境の改善や経済政策の効果などを背景に、再び景気回復へ向かうことが期待されていますが、海外景気の伸び悩みが引き続き我が国の景気に影響を及ぼすことも予想されます。政府による大規模な経済対策も実施されつつありますが、効果が現れ実際に景気回復が実感されるのは数年先ではないかとの見方もあり、楽観は出来ない状況にあります。

昨年10月に町長に就任して早5か月が過ぎ、改めて町政運営の重責を認識しているところ

でございますが、先行き不透明な社会情勢の急激な変化に対応出来るよう身の丈に合った財政運営と地に足のついた行政運営を心がけてまいります。

人口が減少し続けている本町において最も必要なことは、経済の振興であり、農林水産物やその加工品などを島外に移出して外貨を稼ぐとともに、生鮮食料品などの島内自給を進める必要があります。

こうした観点から、本町の基幹産業である農業をみたとし、永年にわたり営々と整備を進めてきた畑地灌漑事業の成果が、当初期待されたほどあがっており、農業生産額が伸び悩んでおります。その理由は、土地生産性の低いサトウキビ作の占める割合の高さにあり、今後は野菜や花卉の生産拡大や畜産の振興が急務となっていることから、新たな措置を講ずることとしております。併せて、野菜や水産物の地産地消を推進してまいります。

我々が島で生活していくためには、福祉や医療サービスを確保することも大変重要ですが、この分野は国全体としての制度によるものが多く、また少子高齢化の進展を背景として国保・介護等特別会計の運営に厳しい点も配慮しながら、子育て環境の充実、ボランティアの活用な

島の経済振興が最優先課題



議会で施政方針を述べる川島町長

川島 健勇
喜界町長

1949年4月26日生まれ。熊本市出身。昭和26年鹿児島大学法学部卒業後、大島支庁庁長などを歴任。平成24年10月に第17代喜界町長に就任。今年69歳。

ども取り組んでまいります。私たちの島には我々が気づいていない磨けば光る資源が数多くあります。我々にとつては、当たり前の風景でも島外の方からみると珍しかったり、貴重であったりすることがあると思います。今ある資源を見直し、磨き上げ、活用することで少ない投資でも新たな事業効果が現れると思いますので、島を訪れた方の身になって案内板など優先度が高いものから逐次確実に整備を進めてまいります。

平成25年度は、奄美群島振興開発特別措置法の最終年度にあたりますが、法の延長と奄美の実情にあった制度の充実に向けて各市町村、県と一体となつて国へ働きかけてまいります。

また、祖国復帰60周年という節目の年でもありますので、群島内でも数々のイベントが予定されています。日本復帰記念大島地区駅伝競走大会が本町で開催されますが、町を挙げて盛り上げてまいりたいと思います。

1. **地域を支える 基盤づくり**

本町では出生率の低下や平均寿命の伸長などにより、少子高齢化が急速に進行してお

り、加えて農業分野においても、TPP参加問題、後継者不足、農家戸数の減少等、農業を取り巻く環境は非常に厳しく、多くの難問を抱えています。本町の農業においても新しい農業への展開が必要であり、今後、サトウキビ作の反収向上と併せて、園芸、花卉、畜産の振興を図り、複合型農業を推進してまいります。

糖業振興につきましては、平成24年産は昨年の不作と二転し、メイチュウ類の防除対策などで8月中旬までは豊作ではと期待を持っていましたが、その後の相次ぐ台風襲来による潮風害により6万トンを切る見込みとなっており、2カ年連続で厳しい年となります。町としては、生産者の生産意欲ならびに生産向上に向けて、土作り対策や優良種苗の供給、管理機械、収穫機械の機能向上への助成を行うとともに、経営安定化のために欠かすことの出来ない畑作物共済への加入促進を図ってまいります。

また、近年さとうきびの害虫発生により減収となっているため農葉の助成も行うほか、町の増産計画に基づき、収穫面積の確保並びに単収向上のため各関係機関・団体と連携し、一体となつて取り組んでまいります。

畜産振興につきましては、昨年度の自然条件等の影響を受けた農畜産物の低迷の中で国民の牛肉消費が回復した影響もあり子牛価格は後半になつて上向いてきており安心していくところと見られます。本町の肉用牛生産は、豊富な草資源を活用した繁殖経営が行われ飼養規模・頭数も着実に伸びてきており、年6回のセリ出荷頭数も1,200頭を超え、更に新しいセリ市場も完成し、畜産振興に邁進しているところです。これからもコスト削減を図るとともに新規農家の確保、育成指導を徹底して産地間競争に負けない足腰の強い肉用牛農家の強化を図ってまいります。

野菜振興につきましては、畑地灌漑施設を利用し、重点品目のトマト・カボチャ・メロン・ソラマメその他野菜の作付面積の拡大、施設園芸の推進、園芸農家の育成並びに品質の向上を図ってまいります。また、施設関係の補助事業を行い面積拡大を図ります。

果樹振興につきましては、既存の柑橘類がゴマダラカミキリムシの蝕害を受け枯れる被害が発生しており、被害軽減のため虫の買い取り及び薬剤による試験を引き続き行います。

マンゴーについては、近年、新規栽培者が増えて、面積も増

加してまいります。栽培講習会や先進地研修を行い、技術の習得を図ってまいります。新年度も奄美農業創出支援事業を導入してマンゴーハウスの設置を計画してまいります。

花卉振興につきましては、平成21年度にキクえそ病（ウィルス）の発生が確認され、無菌苗を栽培・配付しているところですが、新年度においても同様に苗の配付のほか、平張施設・電照施設の補助事業を行い、面積の拡大を図ります。

ゴマ振興につきましては、近年は相次ぐ台風の襲来、天候不良によりゴマの生産量・面積は減少しております。天候に非常に影響される品目ですが、新年度はゴマの播種用機械・収穫機械・選別機械の助成事業



を行い、面積拡大と品質向上を図ってまいります。また、ゴマ産地として安心、安全なゴマを生産するため、栽培履歴記帳を推進してまいります。

特殊病害虫防除対策につきましては、カンキツグリーニング病が平成23年度で根絶を達成することができましたが、今後は新たな発生を防ぐために侵入警戒事業を行ってまいります。

アリモドキゾウムシは平成22年度より喜界町全島を調査範囲とし、不妊虫放飼、密度抑圧、トラップ調査と段階的に撲滅を図っております。今後の早期根絶が待たれます。

営農支援センターにつきましては、従来どおり、さとうきびの側枝苗・補植用一芽苗やパッションフルーツ・パイヤ等の苗、鳥ミカンの苗木の販売を継続するほか、家庭菜園用のその他野菜についても時期ごとに栽培講習会を行い、地場産野菜の普及を図ります。

なお、ボタンボウフウ（潤命草）の試験栽培にも継続的に取り組み、今後の普及拡大に努めます。また、同センターの施設等を活用し、研修生を受け入れて、新規就農者・農業後継者の育成に取り組んでまいります。

農産物加工センターにつきましては、在来ミカンやトマトを原料とした加工品の商品開発に取り組んでいます。また、ソラマメの皮むきや製粉などの受託も多く、年々利用者も増えております。昨年はゴマ選別機、ゴマ洗浄機等を導入しましたが、多くの町民が利用し、本町の特産品であるゴマに付加価値をつけ、販路拡大や加工技術の促進に役立っています。

今後は、喜界島ならではの農産物を活かした商品開発を農工商等連携による共同開発を進め、更なる加工センターの活用促進につなげてまいります。

農村整備につきましては、県営事業を中心に整備を進め、区画整理・土層改良・排水対策・海岸保全を継続して実施してまいります。

また、地下ダム施設の維持管理運営等や農地・農道等についても、施設の長寿命化を旨として、維持管理の共同活動の支援を図ってまいります。

林業振興につきましては、森林は多様な環境保全と二酸化炭素吸収作用が最も重要なことと言われています。本町においても、森林の果たす役割は大きく、造林・森林管理を進めているところです。島の水瓶である百之台地区は唯一の森林地帯で、ほとんどが人工林ですが、

水源涵養林として公益的機能を高めています。

また、海岸における森林は、台風等の被害軽減を目的とした重要な防災林で、景観対策も含め整備を行ってまいります。

水産業につきましては、離島漁業の活性化を図るために、離島漁業再生支援事業を継続してまいります。

また、全国的に魚食離れが進んでいます。本町も同様ですが、新しい取り組みとして学校給食等の魚の食育も兼ねた魚食推進事業を導入し、島内消費を高めます。

商工業の振興につきましては、消費者ニーズの多様化や人口減少の要因に加え、雇用不安による購買意欲の低下により、本町の商店街や小売店は依然として厳しい状態が続いています。

そのため、事業者の経営力向上や地域活性化を図るため商工会への助成を引き続き行います。

また、融資利用者への利子補給の支援策も継続して行い、事業者への負担軽減を図るとともに経営安定や基盤強化も支援してまいります。

観光につきましては、本町の特性を活かした多様な体験型観光メニューの掘り起こしや、ツアーガイドの育成を図り、自然と調和したエコツーリズムを推



進し、交流人口の拡大を図ります。

また、奄美群島観光物産協会や喜界島観光物産協会と連携した情報発信や、観光物産展への参加等島の魅力発信に努めてまいります。その他、観光物産協会が主催する各種事業を支援するとともに、観光資源の磨き上げや公園等の整備・管理に努め、地域力を生かした美しい町づくりに取り組んでまいります。

2. 生活と福祉の充実したまちづくり

(生活環境の整備)

(1) 公営住宅・下水道・街なみ環境整備

公営住宅につきましては、湾宮戸団地の建替え事業を引き続き継続し、本年度も木造2

階建て1棟(5戸)を建設いたします。また、『公営住宅長寿命化計画』に沿って赤連山水団地の外壁・屋上改修工事を行い、長寿命化を図り、更なる住宅管理の経費縮減に努めてまいります。

下水道事業につきましては、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため平成11年度から計画的に整備を進めてきました。本年度の湾・中里地区の管渠工事4ヘクター及び喜界水質浄化センター場内整備工事を最後に終了することとなります。

今後は、公共下水道、農業集落排水処理施設への加入促進に引き続き努めてまいります。

また、個別処理の浄化槽設置整備事業も前年度に引き続き実施し、快適で暮らしやすい生活環境の実現を図ってまいります。

(2) 簡易水道

簡易水道事業につきましては、水質検査計画に基づき定期的に水質検査を実施して、お客様に安心で安全な水を安定供給するために、日々努力してまいります。

本年度は、西部地区簡易水道の中里水源、浄水場及び導水管と主に湾地区の配水管を整備いたします。

西部地区簡易水道は、平成

23年度の着手から3年目になります。今後も事業の早期完成を目指して努力してまいります。

(3) ごみ処理

ごみ焼却施設クリーンセンターは、供用開始から20年が経過しましたが、設備の年次検査や必要な補修を行いながら施設の安全と長寿命化を図ります。また、現在のごみ分別品目等についても検討を行い、町民のみなさまの理解を得ながら資源ごみへの有効利用、ごみの減量化に取り組み、環境衛生の推進に努めてまいります。

(4) 消防・防災

これまでの防災に対する意識を根底から覆した東日本大震災を教訓に防災対策につきましても優先順位をつけて取り組ん

でまいります。昨年度は、防災マップの作成・標高表示・緊急避難路整備等を実施しました。

更に防災体制の強化を図るために防災行政無線は、災害時に町民の皆さんの「安心・安全」を確保するための有効な手段のひとつと考えています。平成元年に整備して以来、老朽化が進んでいる防災行政無線のデジタル化を含めた大規模な改修工事を25年度から3年間かけて、進めてまいります。

また、懸案事項のひとつでありました国有財産の通信所跡地、アンテナ跡地につきましては、年度内の用地購入に向けてのスケジュールが具体化したしました。購入後は、給食センター建設やヘリポートの整備等年次的に計画を進めてまいります。

(社会福祉の充実)

近年、急速な少子高齢化や核家族化、また女性の社会進出による生活形態や意識の変化により、行政に対する住民ニーズは、年々増大・多様化しています。

このような状況の中、だれもが安心して暮らせる地域社会を築くために保健、福祉、医療、介護分野の施策充実に努めてまいります。



社会福祉施策につきましては、民生児童委員協議会や社会福祉協議会、母子寡婦福祉会、保護司会への支援を行うとともに、寡婦家庭やひとり親家庭への医療費の助成を実施いたします。

また、新年度の新たな取り組みとして、本町の地域医療を担う医師を育成するため、将来喜界町の医療機関に医師として勤務しようとする医学生に対し、年間180万円の修学資金の貸し付けを行います。

高齢者福祉施策につきましては、73歳以上の敬老バス乗車券の発行、80歳以上の敬老金支給、在宅支援のための訪問給食サービス、長寿クラブ活動の支援も引き続き実施してまいります。

後期高齢者医療保険制度は、超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現を目指して、平成20年度に創設された医療制度です。県内全市町村が加入する広域連合が主体となって運営し、各市町村は保険料の徴収や窓口事務を行っています。

高齢者医療制度については、国の社会保障制度改革国民会議で議論が継続されており、8月までに今後のあり方がとりまとめられる予定です。今後の動向を注視し、情報収集



夏祭り

に努めてまいります。

老人福祉施設につきましては、入居者に対して、より快適な老後が送れる施設であるとともに、更なるサービス提供に取り組み、「老いて、なお幸せ」が実感できるように努め、今後により健全で良好な特別会計を維持していきけるよう、努力してまいります。

介護保険につきましては、3年ごとに各自治体の保険料や事業計画などを見直すことが定められており、平成24年度より第5期介護保険事業計画がスタートしております。今年度は、高齢者の健康づくり活動やボランティア活動についてポイントを付与し、地域商品券と交換できる「高齢者元気度アップ・ポイント事業」を実施し、

高齢者の健康維持や介護予防への取り組みを促進してまいります。

地域包括支援センターは、地域の高齢者の実態把握や虐待への対応など、権利擁護を含む総合的な相談窓口機能とともに、新予防プラン作成などの介護予防マネジメント、また介護サービス以外の様々な生活支援も含む包括的・継続的なマネジメントを行っています。今後高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護サービス事業所、医療機関、民生委員等と連携を密にし、きめ細やかな支援を行うてまいります。

障害者福祉施策につきましては、重度心身障害者医療費助成や施設訪問旅費助成、心身障害者福祉金の支給等の経済的支援を行うとともに、在宅支援の補装具、日常生活用具給付事業を引き続き実施してまいります。

また、新年度は、「育成医療事務」が権限委譲により県から町に移管されます。「育成医療」とは、身体に障害のある児童、またはそのまま放置すると将来障がいを残すと認められる疾患がある児童に、その障がいを除去または軽減する効果が期待できる手術等を行なう場合、医療費を一部公

費負担する制度です。育成医療の認定・支給について関係機関と連携し、業務の万全と町民への周知に努めてまいります。

また、身体障害者協会、手をつなぐ育成会、精神障害者施設「ほっと館」の運営にも支援を行い、福祉団体の育成に努めてまいります。

児童福祉につきましては、核家族化や女性の社会進出など、多様化する家族環境を見据え、島の将来を担う大切な子どもたちの健やかな成長のため、的確な環境整備に努めてまいります。

平成25年度は、放課後児童クラブを喜界小学校校区と早町小学校校区の二カ所に立ち上げ、保護者が就労等により昼間家庭にいない、主に小学校



大島地区大会

低学年の児童を預かり、遊びや生活の指導、学習活動の援助を行ってまいります。

保育所は、民営化に伴い延長保育等のサービス向上を図っており、今後とも社会福祉法人「秀心会」と連携を密にし、保護者の要望に応えられるよう保育内容の充実に努めてまいります。

なお、入所児童の決定や保育料の決定・徴収等については、引き続き町が行ってまいります。保育料は、国の基準よりも低く設定しており、保護者の負担軽減を図りながら子育て支援を行ってまいります。

子育て支援センターにつきましても引き続き「秀心会」に運営委託し、親子の交流の場として、子育て支援サービスを行ってまいります。

また、これまで「秀心会」に運営委託してまいりました「児童デイサービス」改め「児童発達支援事業」については、対象児の増加により、新年度から旧湾幼稚園にて町で実施し、発達に心配のある子どもや障がいを持つ子どもを支援してまいります。

児童相談関係については、大島児童相談所や県福祉事務所、町教育委員会、保育所等の関係機関と連携を図り、子育て相談や児童虐待情報の取

集、意見交換等を行い、子育てに悩んでいる親を孤立させない方策を進めてまいります。

児童手当や児童扶養手当、特別児童扶養手当については、

新年度は特に大きな制度改正はございません。これら制度の周知・啓発や適正な管理に努め、児童福祉の向上を図ってまいります。

乳幼児等医療助成事業につ

きましては、新年度から対象年齢を12歳まで引き上げ、小学生まで医療費の助成を実施いたします。

国民健康保険事業につ

きましては、これまで健全運営がなされてきましたが、今後は加入者の高齢化や医療技術の高度化による医療費の増大、さらには長引く景気の低迷により、医療費は増える反面、税収は大きく伸びないことが予想されます。町としては、生活習慣病予防や収納率の向上に最大限の努力を行い、誰でも安心して良質な医療サービスを受けられる制度の安定的運営を行うよう努めてまいります。

保健事業につ

きましては、医療費リスクの軽減を図るため30歳以上の方を対象とした人間ドック並びに脳ドックの費用に係る助成を行います。40歳以上の生活習慣病等の恐れのある方には、運動や食事等の生活改



体育祭

善を行って健康な状態を少しでも継続させることを目的に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）対策を取り入れた特定健康診査及び特定保健指導を実施します。自分の健康は自分で守るとの動機付けを行い、健康体を維持できるように支援を行ってまいります。

また、未受診者の受診啓発とともに、病院等からの情報提供の推進にも取り組んでまいります。

健康増進事業につ

きましては、健康相談や各種検診を定期的に実施いたします。特に、胃がん・肺がん・子宮がん・大腸がん検診については、早期発見・早期治療の重要性を各事業所やイベント等で啓発し、受診率の向上に努めてまいります。

す。

本町では高血圧や男性の肝臓疾患が多いのが問題となっており、食事・運動・休養・飲酒・喫煙等の生活習慣改善について個人への働きかけだけでなく、健康意識の高い地域づくりへの取り組みも必要です。補助団体である食生活改善推進員連絡協議会や健康づくり推進員とも協力し、生活習慣改善の重要性について、啓発・指導を引き続き行ってまいります。

母子保健事業につ

きましては、乳幼児健診や1歳6か月児健診、3歳児健診、親子教室、生後4か月までの全戸訪問、母子相談、健康教育等の事業を継続して実施し、心身ともに健全な子どもの育成、疾病や障がい早期発見・早期支援に努め、よりきめ細かな母子保健を推進してまいります。

新年度は、未熟児に必要な医療の給付を行う「養育医療事務」が、権限委譲により県から町に移管されますので、業務の万全と町民への周知に努めてまいります。

産婦人科医が常駐していない本町では、妊産婦の経済的、精神的、肉体的負担を軽減するため、島外での妊婦健診及び出産時の宿泊費及び旅費について、引き続き助成してまいります。

予防接種においては、新年度

から子宮頸がん、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、小児用肺炎球菌が、定期予防接種に加わり、ますので、制度の周知と接種率向上に努めてまいります。

3. 「ふるさとと自らに誇りをもつ教育」の推進と生涯学習の町づくり

「21世紀をたくましく生きる子ども育成」

教育についてでございますが、少子化・高齢化が進行している本町にとつて、町の豊かな未来を築く上から、教育による人材育成は喫緊の課題であります。長寿社会の到来に伴い「生き甲斐」づくりを支援する生涯学習の基盤づくりも重要な課題であります。

町としましては、平成24年



大会競走伝馬

度に行われた学校再編の成果を生かして、学校環境の整備、教材備品等の充実、学習環境の整備充実を図り、21世紀をたくましく生きる児童生徒の育成に取り組んでまいります。

また、町民が「心身ともに健康で、生涯にわたって生き甲斐をもつて、充実した人生」が送れるよう、「学びの場づくり」、「スポーツ活動の充実」等に向けた環境づくりを支援してまいります。

本町には、先人の残した数々の文化財がありますが、特に城久遺跡群の保存活用等、文化活動、文化財保存活用等についても支援してまいります。

教育は国づくり・町おこしの根幹に関わることであります。町といたしましては教育の充実に向けて力を注いでまいります。

学校教育につ

きましては、昨年4月に学校が再編され、再編2年目を迎える今年、適正規模の学校環境の中で、21世紀をたくましく生きる力を身につけた子どもたちの育成を図ってまいります。

施策の推進にあたっては、『喜界町教育振興基本計画』に即して学校教育、社会教育を推進してまいります。

教育行政の基本目標として『ふるさとと自らに誇りをも

「つ教育」と『生涯学習のまちづくり』を基本理念に掲げ、その推進を図ります。

そのために、

1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間の育成を図ります。

2 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間の育成を図ります。

学校教育の推進に当たっては、
1 『確かな学力』と『豊かな心』『健やかな体』の育成を重点目標に掲げ、その達成に向けて努力してまいります。

そのために幼小保育参観・授業参観等の実施など幼稚園・小学校の連携の推進、小中学校相互乗り入れ授業の実施など連携型小中学校一貫教育を目指した取り組みの推進、中高合同進路講演会の実施や相互乗り入れ授業の実施など、中高一貫教育の推進に努めてまいります。

2 『喜界島の子どもたちもやればできる』の合い言葉のもと、『教育の成果を児童生徒の姿で語る』ことを指標として取り組めます。また、教育の成果を上げるために、学校と家庭、地域が連携を密にし、



一体となつてそれぞれの教育機能を発揮できるよう支援してまいります。

そのために、学力向上対策会議や学力向上推進委員会等、学校と家庭・地域が一体となつて取り組む場をつくってまいります。

3 学習指導法の改善や家庭との連携を密にして、基礎的・基本的知識をきちんと身につけさせ、取りたい資格、行きたい学校に行ける学力の定着を図ります。

そのために全教員1人年1回研究授業の実施や家庭学習60・90運動などを推進してまいります。

4 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の充実に努めてまいります。その一貫と

して暗唱教育の実践や小学校との交流学習を推進します。

5 全国的に『いじめ』が問題となつていますが、道徳教育の充実、一人一人を大事にする学級活動の実践、人権同和教育や生徒指導の充実等を図り、いじめの根絶に努めてまいります。

6 健常者と障害を負っている人が共に暮らす『ノーマライゼーション社会』の創出が課題になっていますが、その実現に向けて『特別支援教育の充実』を図ってまいります。

7 外部コンクールへの積極的応募や『夢育で強調月間』の実施等による『夢・志』の育成とそれに向かつて努力する子ども達の育成など、『やる気のみちた人材の育成』を図ります。

8 ふるさとの産業・歴史・文化などの調べ学習や伝統文化の積極的な継承活動など、『喜界島らしい教育』を推進し、ふるさとに誇りをもつ子どもの育成に努めます。

9 小学校1年生からの外国語活動の実施、キャリア教育の小学校からの導入など『特色ある教育』の推進を図ってまいります。

10 学校再編を契機として、ICT環境の整備、教材・教具の整備等、教育条件の整備充実に努めます。

社会教育においては、『生涯

にわたつて学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興』を基本理念に、『心豊かで、活力にみちたうるおいの町』づくりをめざして、町民が心身共に健康で、生涯にわたり、生きがいを持って、充実した人生を送れるよう『学びの場』づくりに努め、全ての人が気軽に学ぶことができる『生涯学習の町づくり』に取り組んでまいります。

そのために

1 生涯学習の一層の充実を図るために、生涯学習の推進体制の充実に努めます。

2 町民の学びの場の提供、生き甲斐づくりの支援の観点から、公民館講座、地域講座などの拡充など、各年齢層に応じた学習機会の拡充に努めます。

す。

3 学校と地域との連携・協力体制による学校応援団を組織化し、地域全体で学校を支える取り組みを推進します。

4 少年団体の育成や社会教育関係団体の活動の活性化を図るために、社会教育諸条件の整備・拡充に努めます。

そのために中央公民館・町図書館の運営の充実を図ります。

5 家庭教育学級の充実を図るなどして、家庭の教育機能の活性化や、長寿者学級の充実等に努めるなど成人教育の充実につとめてまいります。

6 青少年活動の充実や青少年育成活動の充実を図るため、地域ぐるみによる青少年教育の充実を図ります。特に、子ども会活動の育成に努めます。

7 先人が守り育ててきた、他に誇れる素晴らしい伝統文化や文化財の継承や保存・活用を努めます。また、平成25年度は特に城久遺跡群等の埋蔵文化財等の展示の工夫改善にも努め、参観の便宜を図ります。

8 明るく豊かな活力に満ちた人生が送れるよう、スポーツ活動の支援と環境整備に全力を尽くして取り組みます。

特に、平成23年度に設立いたしました総合型地域スポーツクラブへの町民の加入を促進し、



より多くの町民が『いつでも、どこでも、いつまでも』スポーツに親しめる環境づくりに努めます。

また、本町で開催される地区ゲートボール競技や日本復帰記念駅伝競走大会などの運営に万全を期して取り組んでまいります。

9 体育施設・設備の充実に ついては、町民の健康増進とスポーツに対するニーズに応え、現在ある施設の整備・補修に努めます。

4. 地域発展の基礎づくり

(町土の有効利用)

農用地につきましては、農用地（採草放牧地）の総量確保と面積集積による有効利用、地域に根ざした意欲と能力のある担い手の確保・育成を通じた農業の持続的な発展を図るため、農地基本台帳の整備・農地地図システム等を活用し、耕作放棄地の解消、担い手農家への農地集積や優良農地の確保・有効活用等の指導推進を図ってまいります。

また、農業者の老後の生活安定及び福祉の向上に資するため、農業者年金の加入推進活動にも努めてまいります。

地籍調査事業につきまし

ては、本年度は、中間・中熊・坂嶺集落の各一部を実施いた



します。地籍調査の成果である地籍図、地籍簿については、各種公共事業等の基礎であり、多方面から早急な整備が望まれているところですが、平成24年度末における進捗率は、19・11%でございます。

各公園施設や公共施設に

つきましては、清掃及び除草等を定期的に行い、利用者が快適に利用できるように施設面の環境整備と維持補修に努め、町民並びに観光客に親しまれる施設として円滑な管理運営を図ってまいります。

(交通通信体系の整備)

港湾及び漁港整備につきま

しては、船舶の安全な航行や係留等を図る為に沖防波堤の整備を行っております。港湾整備につきましては、喜界

島港（志戸桶地区・浦原地区）の沖防波堤を継続して整備してまいります。

荒木漁港地域水産物供給基盤整備事業につきましては、本年度が最終年度でございますので荒木漁港の完成を目指します。

町道等交通基盤整備につ

きましては、現在、学校再編に伴いスクールバスを運行しています。安全を確保するため早町小学校周辺の通学路を拡張し整備いたします。新規事業といたしまして、国庫補助の地方改善施設整備事業を利用し、湾宮戸地区の道路整備を行います。

(共生・協働)

学校再編により学校としての機能はなくなっても地域の灯を消さないための学校跡地利用については、阿伝小学校跡地はこれからの町の産業振興を担う農作物の一つとして期待されている潤命草の加工準備施設として活用されていますし、平成25年度からは坂嶺小学校と滝川小学校跡地でそれぞれ福祉、行政業務がスタートし、小野津小学校跡地については、集落を中心に地域の資源として活用していただきます。

私は、地域に元気がなければ、町の維持発展はないと思っています。地域住民が一体とな

て各集落を元気にしてほしいと思います。そのために町としても出来るだけのバックアップ体制を整えます。

町単独の集落活性化交付金事業を拡充しますので、積極的に活用していただきたいと思っています。

併せて、地域貢献の意識の高い職員の育成に努めてまいります。

5. 行財政の合理化

(事務処理の合理化)

窓口業務につきましては、正確・迅速・懇切を基本理念として特に町民の身分及び行政サービスの基礎となる戸籍事務などは職員の研鑽に取り組んでまいります。

更に、本年度からは県の権限委譲を受け、一般旅券（パス

ポート）の申請・交付事務を住民課で行います。町民の利しやすさ「ワンストップサービス」にも努めてまいります。

町広報誌は、町民への施策の周知や島外の出身者への情報提供のため、親しまれる紙面づくりに努めています。本年度も常に新鮮な情報発信を念頭に、広い視野で取材し的確な情報を提供いたします。

以上、平成25年度の町政運営につきまして、「心豊かで活力に満ちたるおいのまち」を基本理念とし、平成23年度より10か年計画として策定されました、「第5次喜界町総合振興計画」の5つの基本目標にそつて所見を申し上げます。

施策・事業全般において内容を深化させ、庁内の横断的連携を図り、職員一人ひとりが知恵と勇気を出し合い支え合いながら成熟した自治体経営に取り組む所存でございます。

平成25年度も町民の皆様の声の聞きながら同じ視点に立ったまちづくりを進めてまいりますので、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



町民体育祭

平成 25 年度喜界町役場職員 人事異動一覽表 (平成 25 年 4 月 1 日付)

昇格	氏名	新任職	前任職	(主査級)			
(課長級)				柳 卓也	産業振興課	税務課	
○	米盛 照代	保健福祉課参事	早町支所長補佐	○	林 浩之	保健福祉課主査	保健福祉課主事
(課長補佐級)				○	大山 睦子	保健福祉課主査 (介護支援専門員)	保健福祉課 (介護支援専門員)
	武藤 裕和	総務課長補佐 (兼) 選挙管理委員会事務局長	総務課長補佐 (兼) 財産管理係長 (兼) 選挙管理委員会事務局長	○	大高 佳男	建設課主査 空港管理事務所	建設課空港管理事務所
	竹内 功	住民課長補佐 (兼) 戸籍係長	生涯学習課中央公民館補佐	(一般職)			
	沖 康仁	保健福祉課長補佐	保健福祉課主幹		夏目 淳一	総務課	鹿児島県市町村課研修
	寿 隆彦	水環境課長補佐	水環境課主幹		福原 拓	税務課	保健福祉課
	和田 政次	農業委員会主幹	産業振興課主幹		元山 和嗣	教育委員会総務課	建設課
	小林 学	早町支所長補佐	老人福祉施設長補佐		上間 勇喜	建設課空港管理事務所	産業振興課宮農支援センター
	菊地 勝彦	建設課長補佐 (兼) 空港管理事務所長	建設課主幹 (兼) 空港管理事務所長		澄岡 辰弥	産業振興課宮農支援センター	水環境課
	叶 一寿	産業振興課長補佐 (兼) 宮農支援センター所長	産業振興課主幹 (兼) 宮農支援センター所長		金久 貴人	産業振興課農産物加工センター	建設課空港管理事務所
	勝 昭則	産業振興課長補佐 宮農支援センター	水環境課長補佐		豊 博則	住民課クリーンセンター主事	住民課クリーンセンター
	孝田 荘屋	老人福祉施設長補佐	保健福祉課長補佐	(幼稚園)			
	吉田 信子	老人福祉施設主幹 (兼) 看護師長	老人福祉施設看護師長		伊地知 典子	あゆみ幼稚園係長	のぞみ幼稚園係長
○	三明 陽子	会計課長補佐	企画課統計係長	○	揃江 由美	のぞみ幼稚園係長	のぞみ幼稚園主査
○	英 憲仁	建設課主幹 (兼) 港湾係長	建設課港湾係長	○	川 畑 桂	あゆみ幼稚園係長	あゆみ幼稚園主査
○	上地 義隆	産業振興課主幹 (兼) 園芸係長	産業振興課係長	(指導主事)			
○	安藤 哲子	保健福祉課主幹	保健福祉課係長		黒川 周一	静岡県教育委員会学校教育課	教育委員会指導主事
○	俊山 励子	水環境課主幹 (兼) 庶務係長	水環境課係長		徳永 寛隆	教育委員会指導主事	垂水市立水之上小学校
○	富田 英次	生涯学習課中央公民館補佐	住民課戸籍係長	(出向)			
○	澄田 直敏	生涯学習課主幹 (兼) 埋蔵文化財係長	生涯学習課埋蔵文化財係長		今井 章貴	宮城県気仙沼市建設部住宅課派遣	建設課建築係長
○	喜村 浩文	大島地区消防組合喜界分署主幹	大島地区消防組合喜界分署係長		穂積 鉄也	県土地改良事業団体連合会大島事務所研修	産業振興課耕地係
○	菊 廣義	大島地区消防組合喜界分署主幹	大島地区消防組合喜界分署係長		宜名真 福太郎	大島支庁保健福祉環境部	税務課固定資産税係
○	徹島 一秀	大島地区消防組合喜界分署主幹	大島地区消防組合喜界分署係長	(新規採用)			
(係長級)					川畑 一英	総務課	
	喜島 正樹	総務課財産管理係長	農業委員会係長		郷田 杏里	企画課	
	黒田 洋	税務課国民健康保険税係長	教育委員会総務課庶務係長		川村 大輝	保健福祉課	
	光 恵美子	保健福祉課係長	老人福祉施設係長		嘉野 慶子	保健福祉課 (保健師)	
	平馬 尚樹	保健福祉課係長	税務課係長		中馬 彬	水環境課	
	富田 道夫	教育委員会給食センター庶務係長	産業振興課係長		早田 晴樹	生涯学習課	
○	澄田 和典	税務課軽自動車税係長	保健福祉課主査		松山 史知	大島地区消防組合喜界分署	
○	仲 悟	建設課庶務係長	総務課主査	(退職者) 平成 25 年 3 月 31 日付			
○	基 俊一	水環境課下水道係長	水環境課主査		生田 吉一		大島地区消防組合喜界分署
○	岡田 勝昭	教育委員会総務課庶務係長	教育委員会総務課主査		宝 幸江		保健福祉課
					勝本 徳江		喜界小学校
					竹 美保子		会計課
					篠原 真智子		産業振興課

異動 50 人、新規採用 7 人、退職者 5 人

「第1回」卒業・卒園式

町内小中学校・幼稚園

昨年4月に再編・新設された小中学校で「第1回卒業式」があった。喜界中学校は3月13日、喜界・早町小学校においては同月22日、各校体育館にて挙行された。

同じく再編・新設されたあゆみ・のぞみ幼稚園においても同月21日、「第1回卒園式」が挙行され、全ての小中学校・幼稚園で「第一期卒業生」が巣立ち、喜界町の教育史に新たな歴史が刻まれた。

喜界中学校第1期卒業生として誇りを持ち、世界に羽ばたく人間になることを目指し、成長していきます！

昨年4月、第一、第二、早町中学校が再編され、第二中学校跡地に新設された喜界中学校（作井望校長、生徒数243人）の「第1回卒業式」が、同校体育館で挙行された。

川島健勇町長は「みなさんは第1期卒業生です。後輩のよき手本となり、



喜界中学校第1回卒業式の様子



校長から一人一人に卒業証書が手渡された

将来の喜界島をつくる原動力となつていただきたい」と祝辞を述べた。

作井校長は式辞で「みなさんは第1期生として、部活や学校行事などで団結力を発揮し、新しい歴史と伝統を築いてきました。これから進む道で、判断を迷うことがあるでしょうが、人の意見に左右されることなく自分で決断し、失敗を恐れず挑戦してください。みなさんの今後

の活躍に期待します」とエールを贈った。

在校生送辞で界眞子さんは「先輩方は生徒会活動や部活動などで、私たちをリードしてくれました。時には厳しく、時にはやさしく指導してくれた先輩方の姿にあこがれて頑張ってきました。今日、夢や希望に心を膨らませて卒業されますが、私たちも負けないよう前向きに、一生懸命胸を張って前進していきます」と卒業生にメッセージを贈った。

卒業生答辞で向井結子さんは「厳しく、根気強く指導していただいた先生方、広く大きな愛情で包み込み、一番近くで見守ってくれた両親、これまで支えてくださった多くの方々、本当にありがとうございました。私たちは第1期卒業生として誇りを持ち、世界に羽ばたく人間になることを目指し、成長していきます」と決意を述べた。また、後輩たちには「私たちから始まったこの歴史と伝統を受け



卒業式終了後、卒業生たちが「栄光の架橋」を熱唱した

継ぎ、新たな素晴らしい歴史を刻んでください」と伝えた。

多くの関係者が見守る中「第1回卒業式」が無事終了し、喜界中学校第1期卒業生92人（男子48人、女子44人）は、希望を胸に住み慣れた学舎を後にした。

喜界小と早町小で

「第1回」卒業式



喜界小卒業式の様子

旧湾・上嘉鉄・坂嶺・荒木・滝川小学校が再編され、湾小学校跡地に新設された喜界小学校（佐藤伸一郎校長、児童数337人）で「第1回卒業式」が挙行された。第1期卒業生は62人（男子35人・女子27人）。

佐藤校長は「皆さんはこの一年間、新しい仲間と力を合わせて、新しい伝統を創ってきました。あとは在校生が良き伝統を引き継ぎ、発展させてくれます。皆さんは記念すべき第1期卒業生として自信と誇りを持ち、中学校でも全力

を尽くして頑張ってください」と式辞を述べた。

中山佳也PTA会長は「『人は出会いや別れで、笑ったり涙を流した分だけ成長する』と私は信じています。みなさんの笑顔、流している涙、今の気持ちを忘れずに、夢に向かって一生懸命勉強や運動に頑張ってください」と、メッセージを贈った。

卒業生全員が舞台に並んだお別れのことばでは、「喜界小で友情の絆と自分に負けず諦めないこと、公平であることのすばらしさを学びました。喜界小の卒業生として明るく、強く、仲良く生きていくことを誓います」と先生方に決意を語り、「いつも優しく励ましてくれて、ありがとうございます。たくさんさんの愛を受け取ってここまで成長することができました」と両親に感謝の気持ちを述べた。

また、旧早町・志戸桶・小野津小学



お世話になった方々に卒業生みんなで感謝の気持ちを伝えた（喜界小）

校が再編され、早町小学校跡地に新設された早町小学校（田島悦子校長、児童数102人）でも「第1回卒業式」が挙行された。早町小学校第1期卒業生は25人（男子12人・女子13人）。

田島校長は「昨年4月、早町小学校が開校しました。全てが初めてでしたが、最上級生として立派に役割を果たしてくれました。4月からは中学生です。中学時代は、自由にやれることが増える一方、負うべき責任も大きくなります。母校早町小での一年間に胸を張り、仲間との絆を深めながら、中学校でも



早町小学校卒業式の様子

頑張ってください」と式辞を述べた。

重信米造PTA会長は「早町小学校の今後を占う大事な年に、6年生として見事なリーダーシップを発揮しました。大きな功績を残しての卒業です。これからも、先生方、家族、地域の方々など、多くの人に支えられ成長できたことを忘れずに、それぞれの夢に向かって

頑張ってください」と祝辞を述べた。最後には、作詞・作曲した柴藤ひろ子さんの伴奏で校歌を熱唱して式は終了した。



伝統は卒業生から在校生へ引き継がれた（早町小）

あゆみ幼とのぞみ幼でも

「第1回」卒園式

旧湾・荒木・上嘉鉄・滝川・坂嶺幼稚園が再編され、上嘉鉄小学校跡地に新設されたあゆみ幼稚園（築四枝園長、園児数86人）は「第1回卒園式」を挙行了した。旧早町・志戸桶・小野津・阿伝幼稚園が再編され、志戸桶小学校跡地に新設されたのぞみ幼稚園（美沢久子園長、園児数16人）でも同様に行われた。

また、あゆみ幼稚園の第1期卒園生は46人（男子23人・女子23人）。のぞみ幼稚園は10人（男子6人女子4人）。



のぞみ幼稚園卒園式の様子



あゆみ幼稚園卒園式の様子

早町小児童が工事現場の仕事体験
 ↳ 工事現場説明会



現場説明会の様子 (写真提供 峰山建設)

株式会社峰山建設(峰山恵社長)は2月28日、早町小学校校庭において早町小児童を対象とした工事現場説明会を開催した。校庭にはコンクリートミキサー車やタイヤシベルなど様々な大型建設機械が並び、児童たちは公共工事の意義や災害について学んだ。

同説明会は、大島支庁喜界事務所との共同開催。地域の子どもたちが工事の意義や役割を詳しく知り、建設業への興味や、台風・津波対策の認識を深めてもらうことが目的。同所管内では初の試みという。

峰山社長は「このような活動が町民の理解と信頼につながり、建設業界のイメージアップになる。今後も一小学校に留まらず実施していきたい」と今後の意欲を語った。

(報告・峰山建設)

旧阿伝小学校跡地に
 「ポタンボウフウ」加工施設が設立

一般社団法人喜界島葉草普及協会(澄川盛昭代表理事)は3月15日、阿伝小学校跡地において「ポタンボウフウ」加工施設の創業式典を行った。

同協会は、平成22年に発足。ポタンボウフウを「命を潤う草」として「潤命草」と名付け、商標登録した。業務提携を結ぶビーエイチエヌ株(東京都)や役場産業振興課などと連携し、栽培方法から商品化までの方法を模索していた。生産農家で組織される潤命草生産組合の設立やほ場の確保などを経て、創業式典を迎えた。

栽培から商品化までの流れとしては、同協会が生産者へ苗を提供し、栽培された潤命草を加工施設で買い取り、洗浄、乾燥させる。加工した潤命草はビーエイチエヌが栄養補助食品などに製造して、販売する。

澄川代表理事は「潤命草は台風や塩害にも強い。女性や高齢者にも扱いやすく、農薬も使う必要がない」と潤命草の特性をアピールした。



創業式典であいさつをする澄川代表理事

木工体験学習

↳ 森林環境教育推進事業



慣れない手つきで椅子を製作する児童たち

早町小学校(田島悦子校長)は2月20日、同校体育館において大野享美術専門員(大島支庁農林水産部)と中野文太郎普及協力員(有) 中野木材、天城町)を講師として招き、6年生児童(27人)を対象に木工体験学習を行った。児童たちはリュウキウマツを材料にドリルなどを使い、慣れない手つきで椅子の製作を体験した。

この体験学習は、森林環境税事業を活用し、森林と環境の関係や林業について学んでもらうことが目的。

体験学習に参加した新田美海さんは「土台作りと、釘を打ち込むことが難しかった。座り心地がいいので家でも使ってみたい」と語った。

リュウキウマツは沖縄県の県木で、トカラ列島以南の南西諸島に分布する。樹皮は灰黒色で不規則な割れ目の特徴。

記録に挑戦

↳ 第1回陸上記録会

きかい100スポーツクラブ(梶原貴史クラブマネージャー)と喜界町陸上協会(松本望会長)が共催する「第1回陸上記録会」がこのほど、町総合グラウンドで行われた。約80人の参加者たちは、100m走や幅跳びなどの競技を行い、春空の下陸上競技に親しんだ。

梶原クラブマネージャーは「記録会の開催は、スポーツの基本である陸上競技の普及を図ることが目的。定期的な記録することで、目標を達成する喜びや体力向上につなげたい」と今後の展望を述べた。

同記録会は、スポーツ振興くじ(愛称toto)の助成金を受けて実施された。今後の開催は季ごと(年4回)に行われる予定で、小学生から70代までの健康な方なら誰でも参加できる。



100m走のスタート直後の様子

「かごしま地産地消推進店」喜界島第1号店に食い処十兵衛が認定される

鹿児島県が認定する「かごしま地産地消推進店」に食い処十兵衛が喜界島第1号店として認定された。

この認定は、飲食店等が地産地消への取組を助け、県産農林水産物の理解促進と消費を拡大することが目的。認定された店舗は登録証が交付され、県のホームページで紹介されるほか、推進店のほり掲示が認められる。

筑紫康之店長は「喜界島第1号店に認定されてうれしい。島にはいい食材がたくさんある。今後とも開発・研究して、お客さんにおいしい料理を提供したい」と今後の展望を語った。



「島の素材を生かした今の一押しは、サクナーを使った料理」と語る筑紫店長（右）

登録についてのお問い合わせは
県庁農政課食育・地産地消
推進班まで
☎099(286)3093(直通)

上園侑さんが最優秀賞受賞 『ネリヤカナヤ創作童話コンクール』



絵本化された作品と賞状を持つ上園さん

県図書館協会奄美支部が主催する第9回ネリヤカナヤコンクールの審査結果が昨年10月に発表された。小学1年から6年までと中学、高校の部・計8部門に273点の応募があり、喜界小学校に在籍する上園侑さんの作品「星の子ルカのぼうけん」が小学4年の部・最優秀賞に選ばれ、このほど同支部から絵本化された作品と賞状が届けられた。

同コンクールは、夢やロマンに満ちた童話を創作することで、想像力や表現力を培い、豊かな心やたくましく生きる力を育むことを目的とする。ネリヤカナヤは「海のかたなにある理想郷」を意味する。

上園侑さんは「受賞できてうれしい。喜界島でこんなことが起こりたいなと思ったことを物語にした。今年も新しい作品をつくりたい」と笑顔で受賞の喜びを語った。

「星の子ルカのぼうけん」(全文)

夏の夜空は、星がきらきらとかがやいています。その中でひとときわ目立つあの星は、おおくま座の北斗七星の親子です。「ああ、もうつかれたなあ。」星の子ども、ルカがあくびをしました。

「じっとしていなさい。夜は動いちゃだめよ。」

お母さん星がいました。ルカは、お昼に遊びすぎたのです。もう、ねむくてたまりません。こっくり、こっくり…。ヒューン、ヒュルヒュル、ドテン。ルカは、地面に落ちてしまいました。

「いててて。ここはどこだ。」

ルカは、あたりを見回しました。お母さんやお兄ちゃんたちがいません。

「ほく、落ちちぎったんだ。」

ルカが歩いていると、かんぼんが立っていました。

「美しい村、喜界島」

聞いたことないなあ。ほく、早く帰らなくっちゃ。お母さんにおこられる。」

ルカが走って行くと、さとうきび畑がありました。

「どうしたんだい。そんなにいいで。」

さとうきびおじさんが、ゆるゆら風にゆれながらいました。

「ほく、まいごになつたんだ。ほくの家、どこかわかる。」

ルカがいうと、さとうきびおじさんは少し考えていました。

「知らないな。でも、きみみたいに金色に光るものは見たことがあるよ。」

「きつと、そこだよ。ありがと。」

ルカは、教えてもらった道を進んでいきました。

しばらくすると、金色に光るものが見えてきました。ルカは、うれしくて走って行きました。でも、それは小さすぎ。オオゴマダラのさなぎだったので。

「どうしたの。そんなにいいで。」

オオゴマダラおくさまが、ひらひらりとダンスをおどりながらいました。

「ほく、まいごになつたんだ。ほくの家、どこかわかる。」

ルカがいうと、オオゴマダラおくさまは、少し考えていました。

「知らないわ。でも、あなたみたいにちかちかしているのは見たことあるわ。」

「きつと、そこだよ。ありがと。」

ルカは教えてもらった道を進んでいきました。

しばらくすると、ちかちかがやくものが見えてきました。ルカはとびはねて走って行きました。でもそれは大きすぎ。灯台のらいとだったのです。

「どうしたんだね。そんなにいいで。」

白やぎじいさんが、のっそり歩きながらいました。

「ほく、まいごになつたんだ。ほくの家、どこかわかる。」

ルカがいうと、白やぎじいさんは、少し考えていました。

「知らんね。だが、おまえみたいにとげとげしているものは見たことあるわい。」

ルカは、教えてもらった道を進んでいきました。

しばらくすると、海の中に何かとげとげしているものが見えてきます。ルカは、パシヤパシヤ走っていききました。でも、それは色がまっくろ。うにだったのです。ルカはがっかり。もうつかれて歩けません。とうとうなきだしてしまいました。

「うわあん、うわあん。帰りたいよう。」

そこへ、一人の女の子がやってきました。

「どうしたの。もしかして、まいごさん。」

「うん。ほく、おうちが分からないんだ。」

「あなたのおうちは、あそこでしょう。」

しばらくすると、海の中に何かとげとげしているものが見えてきます。ルカは、パシヤパシヤ走っていききました。でも、それは色がまっくろ。うにだったのです。ルカはがっかり。もうつかれて歩けません。とうとうなきだしてしまいました。

「うわあん、うわあん。帰りたいよう。」

そこへ、一人の女の子がやってきました。

「どうしたの。もしかして、まいごさん。」

「うん。ほく、おうちが分からないんだ。」

「あなたのおうちは、あそこでしょう。」

女の子が指さしたところは、海の上でかがやく夜空。

「今日は、北斗七星が六つしかなかったのよ。おかしいわねって思ってたの。まさか、喜界島に来てくれたなんて。」

女の子は、にっこり笑っていました。

「さあ、帰りましょう。」

「どうやって。」

「これよ。わたし、夜空をとぶの大好き。」

女の子は、ほうきを出しました。女の子は魔女だったようです。二人はほうきにつけて、夜空へとびたちました。

「お母さん、みんな、ただいま。」

「どこに行つてたの、しんばいしたのよ。」

「あのね、喜界島っていうところに行ってきたんだ。それでね…」

ルカは、こつふんして話し始めました。女の子は北斗七星の親子をくるりとまわって、帰っていききました。

「さあ、帰りましょう。」

「どうやって。」

「これよ。わたし、夜空をとぶの大好き。」

女の子は、ほうきを出しました。女の子は魔女だったようです。二人はほうきにつけて、夜空へとびたちました。

「お母さん、みんな、ただいま。」

区長が語る！！わーちゃん集落



※題名のわーちゃんは湾での呼び方
今後は各集落によって変えていきます

役場から湾集落を臨む

集落は独自の風習や慣習を保ちながら、長い年月を経て、各集落ならではの気質を形成してきた。集落の運営に携わり、集落の代表である区長を訪ねて、自慢である「わーちゃんシマ（集落）」の特色ある行事や集落性などを紹介したい。

第1回 湾集落

概要

人口1,447人、世帯数653世帯（平成25年2月末現在）。町の中心地に位置する湾集落は、役場や喜界幹部派出所などの官公庁があり、総合体育館や総合グラウンドなどのスポーツ施設も充実している。各種商店や飲食店などの店舗も多く、買い物客で賑わいを見せている。明治41年の島嶼町村制の施行以後、4人の町長が誕生するなど多くの卓越した人材を輩出。現在は岩田進さんを区長として、班を1号から14号まで構成、「和」を大切に集落運営がされている。

特色ある集落行事など

●節句（しく）

1月～3月前半に年一回、各号ごとに寄り合いを持つ。定期的に号ごとの催しを開催するのは湾集落だけという。号ごとに集まった集落民は、趣向を凝らしたゲームなどで親睦を深める。

●号対抗グランドゴルフ大会

年1回開催される、号対抗「グランドゴルフ大会」には毎回多くの集落民が参加する。3回目を迎えた今年も、30～80代まで約90人の集落民が集まった。約20年続く定期的な練習には、多くの愛好者が海浜公園に集まるなど、グランドゴルフに非常に熱心な集落。

今年の大会では、高齢の中山イトミさん

（86才）が個人の部で優勝し、集落の話題を集めたという。

●湾集落八月踊り保存会

現在のメンバーは30人ほど。月1回公民館に集り、唄者の生の声に合わせて八月踊りを踊る。会員の高齢化が進んでおり、後継者育成が課題。

●千丁祝

湾の集落行事の中で、最も歴史と伝統がある行事。旧暦6月5日に開催される千丁祝は明治30年代から始まり、今年で107回を迎える。

祝は、水天宮で豊作を祈願した後、事前にサトウキビの出来栄を審査した役場・生和糖業・JAあまみの糖業関係者が出席し、結果発表や親睦を図る場となっている。以前は、現在のゲートボール場（大山グラウンド歯科前）で行っていたが、十数年前から湾公民館で開催している。

昭和30年頃は、湾集落の農家戸数は100軒を超え、農業従事者が多く参加し、盛況だったという。

集落性

集落外の人でも優しく受け入れられる、寛容な集落民が多い。縦のつながりを非常に大事にし、「湾集落の人は上下関係をわきまえている」と他集落の方から褒められることが多い。団結心が強く、湾の象徴「W」のマークを重んじる。昨年は町民体育祭で5連覇を達成するなど、強豪「湾」を印象つけた。

史跡など

●御殿（ウドン）の鼻（金刀比羅宮）

文政元年（1466年）、琉球国の尚徳王は喜界島を攻めた。喜界島側も本陣をここに構え、長嘉を首領として抵抗した。神社があるこの地には崇徳天皇が祀られ、「航海安全・漁業の神」と崇められている。

●俊寛僧都の墓

昔からこの地は「坊主前」という地名で呼ばれ、俊寛僧都の墓と伝えられる墓石があった。その下から人骨、金具、木片が発見され、この地に眠る俊寛僧都の座像が安置されている。その他、太平洋戦争中の戦跡など数々の歴史的重要な史跡がある。



Profile

岩田進区長 (60)

湾集落区長。区長歴13年。昭和28年生まれ。民生児童委員（協）会長。町議を2期8年（平成4～12年）務める。趣味グランドゴルフ。好きな言葉「和をもって尊しとなす」。



御殿の鼻



俊寛僧都の墓



すこやかニューズ

すこやかセンター (TEL 65-3522)

「発達障害」ってなに？

「発達障害」と言う言葉を聞いたことはあるけれど、これは一体どんな障害なのでしょう？

普段は「普通の子」と変わりませぬ。しかし、

○友達との関わり方が分からず孤立する

○気持ちや行動がコントロール出来ずにパニックになる

○親や先生の話が理解出来ない

等、故意に振る舞っているわけではないけれども、結果として失敗したりトラブルを起こしたりしがちな面があります。発達障害の特徴は主に乳幼児期に現れますが、その時は気づかれずに、大人になつてから職を転々とする、引きこもり等の原因の一つとなつているとも言われています。

①原因はなに？

脳の働き方に生まれつき通常と異なっている部分があるためです。親の育て方・しつけが原因で生じるものではありません！

②発達障害は治るの？

障害の原因となっている脳の機能を薬や手術で治すことは出来ませぬ。

んが、「療育」を行うことで日常の困り感が減り、社会性が身につくことで本人が暮らしやすくなります。

③周りの人はどう接したら良い？

出来ないところを責めたり叱るのではなく、良いところを見つけて褒めたり、応援したりしながら温かく見守ってあげましょう。

〈理解して欲しいこと〉

●頑張っても出来ないことがある(責められ続けると、反抗的な性格になる事がある)

●ほめられると、頑張ろうという気持ちになる

●悪意を持って悪口を言ったり乱暴したりすることはない

④つちの子も発達障害かも？

じつと座つてられない、スキップを嫌がる、癩癩(かんしゃく)がなかなかおさまらない等...、子どものことで気になる事があつたら、保健師にご相談下さい。「障害」にこだわらず、子ども自身が安定して日常生活を過ごし、子どもの能力を伸ばしていけるようにするための土台作りをするために「この子の子育て」を一緒に考えさせて下さい。



松山 愛ちゃん

「平成25年度特定・長寿健診・がん検診(厚生連・医師会健診)」申込みについて
4月中旬に、各ご家庭に申込み用紙を配布いたします。年1回は、健(検)診で自分の健康状態を確認しましょう。詳細は、申込み用紙でご確認ください。
肺がん検診のお知らせ
【対象】40歳以上
【日程】平成25年5月1、2、7、9日
4月中(下旬)に受診票を配布します。対象の方で、受診票が届かない場合は、ご連絡ください。

保健師・看護師さん健診等のお手伝いをしてくださる方大募集!!
いらっしゃいましたら、すこやかセンター (TEL 65-3522) へご連絡ください。

3歳検診で虫歯ゼロだったよ!



高田 慎健くん



佐久田 琉喜くん(左)琉夏くん(右)



生島 大翔くん



谷村 優衣ちゃん



竹下 路琉くん



竹田 想良ちゃん



平馬 蒼侑くん

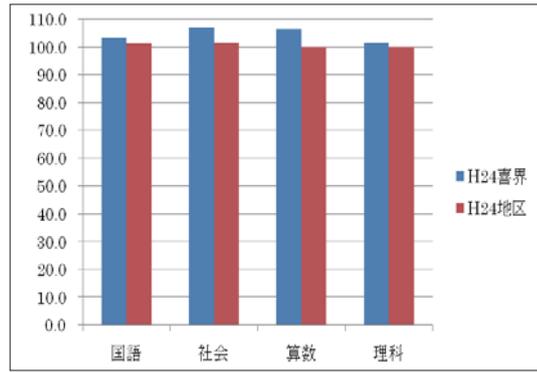


林田 衣央ちゃん

平成24年度県「基礎・基本」定着度調査結果について

平成25年1月16日、17日に県下の全ての小学校5年生、中学校一、二年生を対象に、県「基礎・基本」定着度調査が行われました。左のグラフは、県の平均を100とした時の喜界町の学力の状況です。

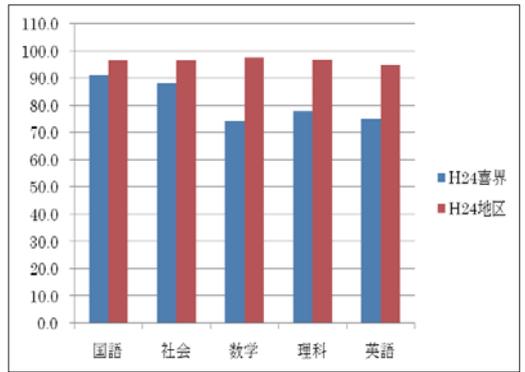
「基礎・基本」定着度調査小学校5年生の結果



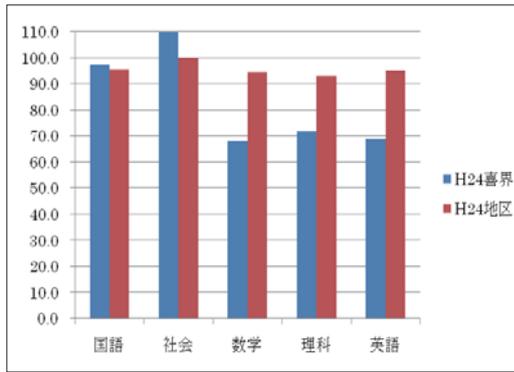
【小学校の考察】

小学校は、全ての教科において県平均を上回るとともに、七割の正答率を超えているので、概ね基礎学力が定着していると考えられます。しかし、文章を書いたり用語を記入したりするような記述式の解答になると、正答率が下がる傾向にあります。また、系統的なつながりが大切な教科でのつまづきが見られます。下学年からの積み重ねを大切にされた指導を充実させていく必要があると考えます。

「基礎・基本」定着度調査中学校1年生の結果



「基礎・基本」定着度調査中学校2年生の結果



【中学校の考察】

中学校2年生の社会以外の教科について、県平均を下回っています。また県が目安としている七割に達している教科は、中学校2年生の社会と国語のみであり、早急に学力向上への対策が必要です。設問ごとの誤答傾向から、中学校も小学校

同様、文章を書いたり用語を記入したりするような記述式の解答になると、正答率が下がる傾向にあります。また、無答率も高く、問題への向き合い方についても指導を充実させていく必要があります。学力は、「自分の夢を実現する」ため、「変化の激しいこれからの社会を生き抜く」ために最も基礎となるものです。子どものために、家庭や地域で未来ある子どもたちを支えていきましょう。

第2回学力向上対策会議

3月3日(日)に喜界町役場で平成24年度第二回喜界町学力向上対策会議を開催しました。本会議は、今回で十回目になります。学校評議員、各種団体代表の他、小・中学校の保護者、学校関係者、約70名が参加しました。

二回目の会では、高校、小・中学校でのこれまでの学力向上の取組について、各学校における学力向上対策の担当をしている先生方に発表してもらいました。各学校の発表の後に、参加者から様々な建設的な意見をいただき、とても有意義な会議となりました。今回の会議での協議内容をもとに平成25年度も学校と家庭地域が連携して学力向上に向けた取組を推進していただけることと確信しました。

「豊かな心を育てる読書大賞」表彰式

3月12日(火)平成24年度「豊かな心を育てる読書大賞(後期)」の表彰式が喜界町役場多目的室で行われました。読書活動は、子どもが「言葉を学ぶ」「感性を磨く」「表現力を高める」「創造力を豊かにする」等、豊かな心を育てるた

めに欠くことのできないものです。喜界町教育委員会で、平成21年度から子ども豊かな心を育てるために、「豊かな心を育てる読書大賞」を実施しています。後期の読書大賞は10月から2月までに、喜界町内小一〜中三までの児童・生徒を対象に、喜界町図書館や、学校図書館、各学級文庫で借りた本の個人の総数を各学校で集計し、各学年の中で、最も本を借りた子どもを「多読者」として表彰しました。

多読者賞を受賞した児童・生徒は、次のとおりです。

「読書大賞」受賞者一覧

学校・年	名前	冊数
早町小1年	芝山 かずや	183
喜界小2年	山元 千波	119
喜界小3年	吉永 萌音	163
早町小4年	南村 紬	164
早町小5年	山城 野乃花	160
早町小6年	池田 紗英	92
喜界中1年	當原 優芽	54
喜界中2年	幸得 優輝	49
喜界中3年	叶 未来	53

これからも、たくさんの方に触れ合ってもらえることを期待しています。



城久遺跡群の保存・活用にかかる 中長期的ビジョンがまとまる!

町教育委員会は、昨年6月に喜界町城久遺跡群保存・活用検討委員会(吉田忠弘委員長)に対し、城久遺跡群保存・活用にかかる中長期的ビジョンについて諮問し、3月5日(火)に晴永教育長へまとめられた答申書が手交されました。発掘調査終了後の城久遺跡群の国指定に向け、その保存・活用について必要な事項の調査及び研究を行い、中長期的なビジョンを策定するため、平成24年度に喜界町城久遺跡群保存・活用検討委員会を設置し、6回の会合を重ね、今回の答申となりました。



↑城久遺跡群の説明を受けるメンバー



→教育長へ答申書を
手渡す吉田忠弘委員長

最後に吉田委員長は、「城久遺跡群は喜界島(しま)の宝であり、極めて重要な歴史的文化遺産を町民みんなで守り育んでいくことが大切」と述べました。答申の内容は次のとおりです。

- 1 保存の在り方について
 - (1) 城久遺跡群の保存の在り方
山田半田遺跡(町所有地)は、「城久遺跡群公園」として整備する。
コンセプトは「過去と現在が対話する空間」
 - (2) 旧滝川小学校跡地の整備の在り方
城久遺跡群に関する調査研究及び出土物の保存・展示の拠点とする。その場合、中央公民館との有機的な連携に十分配慮する。
 - (3) 城久・滝川地区の整備の在り方
城久・滝川地区を「歴史的・文化的景観地区」と位置づけ、有機的・面的な整備を行う。
- 上記の整備に当たっては、地元住民の意見を十分に尊重し反映させるものとする。
- 2 活用の在り方について
 - (1) 学校教育での活用
 - (2) 社会教育・生涯学習での活用
 - (3) 地域経済活性化拠点としての活用
 - (4) 関連市町村と連携した文化的観光資源としての活用
 - (5) 歴史文化観光ガイドの育成と活用
- 3 管理運営の在り方について
管理・運営は管理団体たる喜界町(教育委員会)が主体となつて行う。この場合喜界町のみならず、広く町民参加型の仕組みを構築することが重要である。
- 4 「喜界町歴史文化基本構想」との関係について
将来的には、喜界島全体の遺跡群を含む「喜界町歴史文化基本構想」を策定し、城久遺跡群もその中に位置づける。※具体例については割愛します。

不定期連載

シリーズ 人を訪ねて

第一回 「三線の音色を守りたい」

「ウヤフジ(先祖)が守ってきた三線の音色を後世に残したい。」そう話し、伝統芸能と称される三線の製作や修理を手がける築敏幸さん。

築さんと三線工芸との出会いは、建具修行のため沖縄県に移住していた頃。友人が三線工芸店を営んでおり、頼み込んで、技術を教えてもらった。築さんは、以前から三線の音色や形、デザインなどに惹かれ、ミニチュア製作を趣味としていたが、本場の三線工芸は難しく、数年間の修行を経て技術を習得した。

その後、築さんは喜界島に帰郷。島内に三線工芸店がないことに気付き、「これでは三線の音色が途絶えてしまう」と思い、一念発起。キズキ建具店内に店を開業し、島の伝統文化である三線の製作や修理を行うようになった。

三線には、一般的に使われる真壁型など七つの型に分類され、それぞれ型で響きが異なる。三線に使われる棹の材料も数種類があり、その中でも最高級にランクされ、植樹から伐採までに100〜150年かかるといわれる琉



作業場で皮張り作業をする築さん



Profile

築敏幸さん(42)

昭和45年生まれ。喜界町津在住。沖縄での建具修行の際、友人から三線の製作技術を学ぶ。現在、島内唯一の三線製作・修理を行う丸喜三線店を経営。

球本黒檀がある。この黒檀からできた三線は外観も音色も上品であるといわれている。

築さんによると、音を発するまでのしくみは、弦で弾かれた音は胴に波及し、棹に伝わり、スピーカーの役割をする胴と倍音となつて三線独特の音色を奏でる。三線を製作するうえで重要なことは「皮の張り」と棹に使用する木材の「詰まり具合」を把握すること。皮は強く張れば高い音が響き、緩ませると低い音が響きやすくなる。その加減を見極める技術ができあがり左右するという。

「三線づくりは奥が深い」という築さん。これからもウヤフジが残した伝統文化を後世に伝えるべく、自らの三線工芸技術に磨きをかける。



丸喜三線店 喜界町湾326-4
(キズキ建具内) ☎090-7475-1570



業務改善助成金制度について

◎目的

最低賃金引上げ支援対策費助成金制度（業務改善助成金）は、地域別最低賃金引上げにより大きな影響を受ける中小企業（地域別最低賃金額が700円以下の県に事業場を置くものに限る）の事業主を支援する目的で、設けられています。

◎概要

地域別最低賃金額が700円以下の県に事業場を置く中小企業が、次の事項を実施した場合に、業務改善に要した経費の2分の1を国の予算の範囲内で助成する制度です。（業務改善助成金の上限は100万円、下限は5万円です。）

①最低賃金の引上げに先行して事業場内で最も低い賃金を4年以内に計画的に時間給または時間換算額で800円以上に引き上げる賃金改善計画を策定し、1年あたりの時間給が40円以上となる引上げを実施すること。

②労働者の意見を聴取の上、賃金制度の整備、就業規則の作成・改正、労働能率の増進に資する設備・器具の導入、研修等の業務改善を実施すること。

詳しくは労働局賃金課室まで
TEL 092-805355
鹿児島市山下町13番21号
鹿児島合同庁舎
TEL 099-2223-8278
厚生労働省ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/>
最低賃金に関する特設サイト
<http://www.saitetchingin.info/>

NHK 学園通信講座 受講者募集中!

NHK学園では、生涯学習通信講座の受講者を募集しています。まずは無料の案内書をご請求ください。

◎募集内容…通信講座受講者

◎申込期間…通年

◎講座概要…趣味・教養から語学・資格まで、幅広いジャンルの講座が200コース以上あります。

◎主な講座…俳句、短歌、書道、ペン字、水彩画、絵手紙、写真、エッセイ、古文書、漢方薬膳、ハーブ、折り紙、ハンゲル、中国語、スポーツリーダー養成講座など

◎2013年の新講座…「やってみよう老前整理」「論語80のことば」ほか

◎受講期間…3か月～1年（講座によって異なります）
◎問合せ先…NHK学園

TEL 042(572)3151(代表)
案内書請求フリーダイヤル
0120(06)8881

九州電力から感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚つりは絶対に行わないよう、お願いします。

なお、万一鯉のぼりや、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力までご連絡いただきますよう、お願いします。

平成25年度 労働保険年度更新 手続きのお知らせ

6月3日(月)から7月10日(水)までは労働保険料の「年度更新」申告・納付期間です。

度更新」申告・納付期間です。○6月はじめに送付されます労働保険料申告書・納付書により、期間中に申告・納付を行っていただきますようお願いいたします。

○平成23年度から、年度更新の審査業務が外部委託され、申告書の受付は、原則として記入漏れ等をチェックするだけの確認作業になります。このため、申告書に記入誤り・漏れがないよう、自主的な記入・申告をお願いします。また、申告書の郵送・電子申請による提出もご検討ください。

問合せ先 鹿児島労働局労働保険徴収室 適用係
TEL 099-2223-8276

鹿児島県の最低賃金 必ずチェック 最低賃金! 使用者も労働者も

地域別最低賃金

地域	時間額	効力発生日	適用範囲
鹿児島県最低賃金	654円	平成24年10月13日	鹿児島県下のすべての労働者に適用されます。ただし、下表記載の産業に該当する場合は、各産業別最低賃金が適用されます。

特定最低賃金(産業別最低賃金)

産業名	時間額	効力発生日	適用範囲
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業(医療用計測器製造業を除く、たばこ・たばこ電計製造業は含む)	700円	平成24年12月21日	次に掲げる者を除く。(ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます。) ①1日未満又は55歳以上の者 ②雇入れ後の月末までの者で、技能習得中のもの ③労働以外の業務に主として従事する者 イ 清掃又は片付けの業務 ロ 作業場内又は手工具等による小型動力を用いて行う簡易な修繕、点検、保守、保守作業、保守作業の補助、保守又は運搬の業務(これらの業務のうち流し作業の中で行う業務を除く。) ハ 手付けによる包装、袋詰め、詰め、材料の選別又は取りそろえの業務
百貨店、総合スーパー	680円	平成24年12月6日	次に掲げる者を除く。(ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます。) ①1日未満又は55歳以上の者 ②雇入れ後の月末までの者で、技能習得中のもの ③清掃又は片付けの業務に主として従事する者
自動車(新車)小売業	724円	平成24年12月19日	次に掲げる者を除く。(ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます。) ①1日未満又は55歳以上の者 ②雇入れ後の月末までの者で、技能習得中のもの ③清掃又は片付けの業務に主として従事する者

日本経済産業省の決定(平成23年4月1日施行)に伴い、「電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業最低賃金」は、その名称(名称)の変更、(電)用器、(電)子部品、(電)子回路、(電)気機械器具製造業最低賃金に改称されたが、その適用範囲については従来と同様で、変更はありません。

●最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどすべての労働者に適用され、使用者は労働者に対し、最低賃金額以上の賃金を支払わなければならない。
●特定最低賃金(産業別最低賃金)は、県内の特定の産業の労働者と使用者に適用されます。地域別と産業別の両方の最低賃金が同時に適用される場合には、高い方の最低賃金額以上の賃金を支払わなければならない。
●最低賃金には、次の賃金は算入されません。
①臨時に支払われる賃金(臨時手当等) ②一月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
③時間外・休日・深夜労働に対する割増賃金 ④精算手当、通勤手当、家族手当

＜最低賃金に関するお問い合わせ先＞

鹿児島労働局賃金室	TEL 099-223-8278	川内労働基準監督署	TEL 0996-22-3225
鹿児島労働基準監督署	TEL 099-214-9175	加治木労働基準監督署	TEL 0995-63-2035
鹿屋労働基準監督署	TEL 0994-43-3385	名瀬労働基準監督署	TEL 0997-52-0574

鹿児島労働局・労働基準監督署
<http://kagoshima-roudoukyoku.jstie.mhlw.go.jp> 最低賃金フロンサービス ☎099-223-8881

毎年5月の第二日曜日に、西宮市武庫川河川敷公園で行われていた 関西喜界町郷友会総会・大運動会の会場が今年から変わります。

日時：5月12日(日) 11:00～参加無料 小雨決行
会場：尼崎市「小田南(おだみなみ)公園」
阪神電車「大物(だいもつ)」駅東500m
(前日の土曜日、尼崎「ホテルホップイン」にて18:00～御来賓歓迎会)
関西喜界町郷友会会長 折田 強【問合せ】事務局 070-5650-4292(テラス)

有料広告

町からのお知らせ

総務課からのお知らせ [ふるさと寄付金の受付]

「ふるさと喜界島を応援したい」というあなたの思いを活かしませんか？

ふるさと寄付金を受け付けています。

Q どんな制度なの？

A 喜界町に対する寄附金のうち、2,000円を超える部分について、個人住民税所得額の約1割を上限に、所得税と合わせて全額が控除されることとなりました。(詳しくは、総務省のホームページなどをご覧ください)

[例] 給与700万円で夫婦2人・子供2人の方が、4万円の寄附をした場合

【この方の住民税額を305,000円と仮定した場合】

①寄附金4万円のうち、2,000円を引いた残りの38,000円が控除対象となります。

②所得税の寄附金控除(所得控除)で、38,000円×10%(この方に適用される所得税の最高税率)＝3,800円が軽減されます。

③住民税の寄附金控除(税額免除)で、残りの34,200円の税額が軽減されます。

④②と③を合わせて、38,000円の税額が軽減されることとなります。

つまり、40,000円の寄附を喜界町にすると、税金が38,000円減額されます。

・住民税額が実際に軽減されるのは、寄附をした翌年度分の住民税です。

・所得税については、寄附をしたその年の税額が軽減されます。(最寄りの税務署にて還付申告が必要です)

Q 誰でも寄附できるの？

A 喜界島出身者以外の方でも、どなたでもできます。(出身地や過去の居住地などは、まったく問いません)

[手続き方法]

①喜界町に対して、寄附をする旨の連絡をする寄附の方法については、喜界町役場総務課へお問い合わせください。TEL0997(65)1111(内線14)

②喜界町から領収証を受領する

寄附をした際に受け取った領収証は、所得税及びお住まいの自治体への住民税控除を受けるために必要です。ですから大切に保存してください。また、控除については、最寄りの税務署・お住まいの自治体、あるいは喜界町役場税務課(内線43)へお問い合わせください。

③寄附金控除に関して申告書を提出

毎年1月1日～12月31日までにを行った寄附について、翌年3月15日までに最寄りの税務署に、所得税の申告を行ってください。このとき、②で受け取った領収証などを申告書に添付することが必要ですので、ご注意ください。

税務課からのお知らせ [固定資産税縦覧帳簿の閲覧]

地方税法第416条の規定により、平成25年度固定資産税の土地価格等縦覧帳簿および家屋価格等縦覧帳簿の縦覧を次のとおり行います。なお、縦覧にかかる手数料は無料です。

[縦覧できる人] 喜界町内に所有する土地または家屋に係る平成25年度の固定資産税の納税者およびその同居家族、または代理人

[縦覧できる事項] (土地) 喜界町内の土地の所在、地番、地目、地積、価格等 (家屋) 喜界町内の家屋の所在、家屋番号、種類、構造、床面積、価格等

[縦覧に必要なもの] 納税者本人であることを証明できるもの。(運転免許証、健康保険証など) なお、代理人の場合は委任状が必要です。

[縦覧期間] 平成25年4月1日から平成25年5月31日まで(土、日、祝日を除く) 時間は午前8時30分から午後5時15分まで

[閲覧場所] 喜界町役場1階税務課固定資産税係

日本復帰60周年への想い

【学生の見送り】

昭和29年頃の早町港にて。本土復帰にともない、島の若者が毎日のように職を求めて島を離れていった。上阪する知人(左端)を早町港で記念撮影。後方建物が早町郵便局。

写真は故晶貴操さん以前、町に提供されたもの。



[高齢者元気度アップ・ポイント事業 ポイントをためて商品券をもらおう!!]

◆町が指定した活動に参加すると1ポイント!

平成25年度より「高齢者元気度アップ・ポイント事業」を開始します! この事業は 65歳以上の方が、健康づくり活動などに参加すると、健康ポイントが付き、ポイント数に応じて町内で使用できる商品券に交換できるとい



うものです。ポイントを集めて、元気でいきいきとした生活を続けていきましょう!

詳しくは役場内の地域包括支援センターまで。

◆5ポイントごとに500円の商品券に交換します。

◆年間5,000円分まで交換できます。



※予定しているポイント付与活動
①介護予防教室、認知症予防教室、
認知症サポーター、養成講座、各種
健診、地域見守り声掛け活動等

◆事業に参加するためには?

①スタンプカードをもらいましょう。

まずはスタンプカードをもらいましょう。スタンプカードは、喜界町地域包括支援センターでもらえます。介護保険料を滞納していても参加はできますが、交換申請時に滞納があった場合、商品券に交換できませんので、ご注意ください。

②指定された活動に参加してスタンプを貯めましょう。
町が指定した活動に参加して、カードにスタンプを押ししてもらいましょう。

③ポイントの商品券交換申請をしましょう。

ポイントが貯まったら、喜界町役場保健福祉課内にあります、地域包括支援センターにて、ポイントの交換申請をしましょう。申請に必要なものは、印鑑・スタンプカードです。介護保険料の滞納がある場合、交換申請ができませんのでご注意ください。

[問合せ先]

喜界町役場 保健福祉課 地域包括支援センター

TEL 65-3522 65-1111 (内線38)

[乳幼児等医療助成]

乳幼児等医療助成制度とは、本町に居住する乳幼児等(小学校を卒業するまで)が医療期間などで医療を受けたとき、自己負担分の一部または全額が助成される制度です。

○医療費の助成期間・・・資格発生日から医科・歯科ともに4月より12歳に達する日以降最初の3月31日まで

○医療費助成・・・入院・外来とも保険適用分のみ

●住民税課税世帯・・・3千円を超えた金額

●住民税非課税世帯・・・医療費全額

[問合せ先] TEL0997(65)1111(内線35)

[児童扶養手当・特別児童扶養手当・ ひとり親家庭医療費助成制度ってなに?]

児童扶養手当は、父母の離婚により、父又は母と生計を同じくしていない児童(父又は母が重度の障害である場合を含む)の父又は母や、父又は母にかわってその児童を養育している方に対して手当が支給されます。

特別児童扶養手当は、20歳未満で心身に障害のある児童の扶養のために、その父母、又は養育者に対して支給されます。

ひとり親医療費助成制度は、母子(父子)家庭の母(父)及び児童(18歳に達する日以降の最初の3月31日まで間にある者)に対して医療費を助成する制度です。

[問合せ先] TEL0997(65)1111(内線35)

[児童手当とは?]

出生・転入等により新たに受給資格が生じたときや転出されるときは、役場保健福祉課窓口で届出をしてください。(公務員の方は職場に)認定請求した翌月から、消滅した月まで支給されます。

手当を受けるための手続き等詳しいことは保健福祉課窓口へお尋ねください。

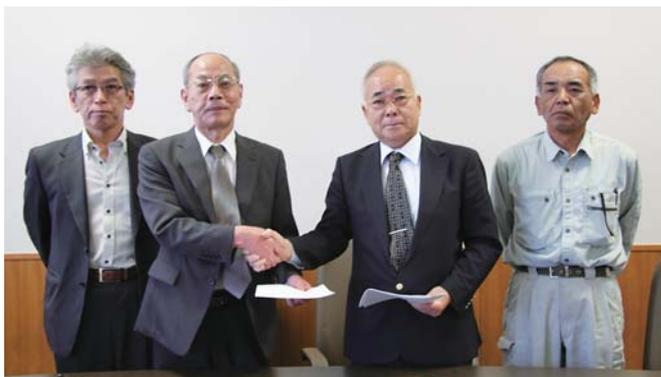
[問合せ先] TEL0997(65)1111(内線35)

総務課からのお知らせ 総務課 [応急生活物資供給協定の締結]

災害対策喜方法では、災害が発生し、又は発生する恐れがある場合に発生を^{ぼうぎょ}防^{ぼうぎょ}禦し、又は応急的救助を行うなど、災害の拡大を防止するための災害応急対策を定めている。

近年、集中豪雨の発生頻度の増加に伴い、大規模災害が発生する危険性が増しています。また、マスメディアでは大規模地震で甚大な被害を及ぼすことを予測する報道などがされています。

そこで、生活の基盤であるガスの供給について、協定により協力要請の根拠を定めることとなり、このたび、鹿児島県LPガス協会奄美支部(中原哲二支部長)と喜界町は、「災害時における応急生活物資(LPガス)の供給に関する協定」を締結しました。



握手を交わす町長(左から2番目)と
中原支部長(右から2番目)

町からのお知らせ

住民課からのお知らせ [毎月5日はエコライフデー!]

「毎月5日はエコライフデー!」とし、電気・水・燃料などの省エネ活動やエコドライブに取り組んでいます。地球環境を守るかごしま県民運動推進会議

4月の取り組み

環境にやさしい交通を考える

(自転車や公共交通機関の利用)

- ①近くへの外出は環境と健康のため
徒歩や自転車で出かけます
- ②自転車や公共交通機関を積極的に
利用します
- ③週1日はノーマイカーデーに取り組みます



[微小粒子状物質(PM2.5)に関する注意情報]

= 防災行政無線でお知らせ =

鹿児島県では、環境省が設置した「微小粒子状物質(PM2.5) 専門家会合」が取りまとめた「最近の微小粒子状物質(PM2.5)による大気汚染への対応(平成25年2月27日)」に基づき、県民が屋外で活動する日中の行動の参考になるよう「PM2.5に関する注意情報の発表」の運用を開始しました。

[注意情報を発表する暫定指針値について]

注意情報を発表する暫定指針値	暫定指針値を超えると予測する1時間値
日平均値が70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した場合	いずれかの観測局(奄美地域には観測局はありません)の午前5時、6時、7時の1時間値の平均値が1局でも85 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した場合

[注意情報が発表された場合]

「PM2.5に関する注意情報の発表」があった場合には、町では防災行政無線によりお知らせいたします。注意情報が発表された場合、次のことに留意してください。

- ・不要不急の外出はできるだけ減らしてください。
- ・屋外での長時間の激しい運動はできるだけ減らしてください。
- ・換気や窓の開閉は必要最小限にすることにより、外気の屋内への侵入をできるだけ少なくしてください。
- ・呼吸器系や循環器系疾患のある方、小児・高齢者等は体調に応じて、より慎重に行動することが望まれます。(参考)

・高性能な防じん(小さな粒子の吸入防止用)マスクの着用は、微粒子の吸入を減らす効果がありますが、顔の大きさに合ったものを顔に密着するように着けなければ

十分な効果が期待できません。

・空気清浄機の除去効果は、機種によって異なると考えられるため、製品表示や販売店・メーカーに確認する必要があります。

微小粒子状物質(PM2.5)とは・・・

大気中に漂う粒子のうち粒子の大きさが2.5 μm (1 μm =0.001mm)以下の小さな粒子のことです。粒径が非常に小さいため(髪の毛の太さの30分の1程度)、肺の奥深くまで入りやすく、肺がん、呼吸系への影響が懸念されています。安全なレベルとして「1 m^3 あたり年平均15 μg 以下かつ日平均で35 μg 以下」との環境基準が設けられています。本県の測定結果について、毎時の速報値については、鹿児島県のホームページから閲覧することができます。

[問合せ先] 役場住民課 TEL 65-1111(内30)

保健福祉課からのお知らせ [全国戦没者追悼式の参列遺族募集]

「平成25年全国戦没者追悼式」に参列される遺族の方を募集します。

[期日] 平成25年8月15日(木)

(前日からの団体行動となります)

[場所] 日本武道館(東京都千代田区)

[対象者] ◎戦没者の配偶者及び三親等内の遺族

◎一般戦災死没者の配偶者及び三親等内の遺族
(過去参列していない方を優先します)

[申込期間] 平成25年5月1日(水)～5月31日(金)

[申込先] 役場保健福祉課(内線25)

[問合せ先] 県庁社会福祉課

TEL 099(286)2830

fax 099(286)5568

役場保健福祉課

TEL 0997(65)1111(内線25)

[健康保険証の異動届出は大切です!!]

住所地の異動や社会保険等の資格の得失に伴う国民健康保険の資格得失の「届出」はすみやかに手続きください。

喜界町国民健康保険



社会保険等(他市町村国保)



もしも…

資格を喪失した保険証で医療機関を受診した場合、自己負担額を除く、全ての医療費をお返しいただくことになります。

[手続き・問合せ先] 役場保健福祉課

TEL 0997(65)1111(内線36)

***** おおきくなあれ*****



松田 順平くん (1歳・赤連)
父 昇平さん 母 順子さん

順平へ

1歳のお誕生日おめでとう。
よく食べ、よく寝て、よく笑う順平。
みんなはいつも順平スマイルに癒やされています。
これからも笑顔のすてきな順平で、すくすくと大きくなあれ(両親より)



模 幸正くん(12歳)(右)(先山)
みつりのり 光法くん(10歳)(左)

父 博正さん 母 いずみさん

今月から中学生になった幸正は、体を動かすことが大好きで、いつも元気いっぱいサッカーをしています。光法は思いやりがあり、よく家の手伝いをしてくれます。

二人とも私たちの希望です。今年も健康で兄弟仲良く、心も体も大きく成長してね。いつも見守っているよ。(両親より)



今月の花① ~キンセンカ~



大朝戸公民館前に鮮烈に咲く
橙黄色とうごうしよくのキンセンカ。見事な咲きつ
ぶりに思わず足を止めました。

キンセンカはきく科の春咲き一年
草。原産地は地中海沿岸。花径は約10cmでオレン
ジ色や黄色の花を咲かせる。花言葉は 別れの悲し
み 乙女の美しい姿 失望。

この草子は、ほかには沖縄に一冊だけ保管されている大変貴重なもの。記述された時代は江戸初期頃といわれ、内容は種まきをする時期などを記した農事暦。

勾玉は水晶の丸玉105個で四国藍染あいぞめの撚りをかけた糸を通してつなぎ合わせ、勾玉は弥生時代のもといわれている数珠玉である。「一八三二(天保三)年泊野呂(ノロ)」「一八三七(天保八)年中間野呂(ノロ)」が記されており、本句玉は二人の「ノロ」が使用したものと推測されている。

現在は町に供託され、歴史民俗資料室で大切に保管・展示されている。

草子…仮名書きの物語、日記、歌などの総称。綴じてある本など。

参考文献【喜界町誌・喜界島見てある記】

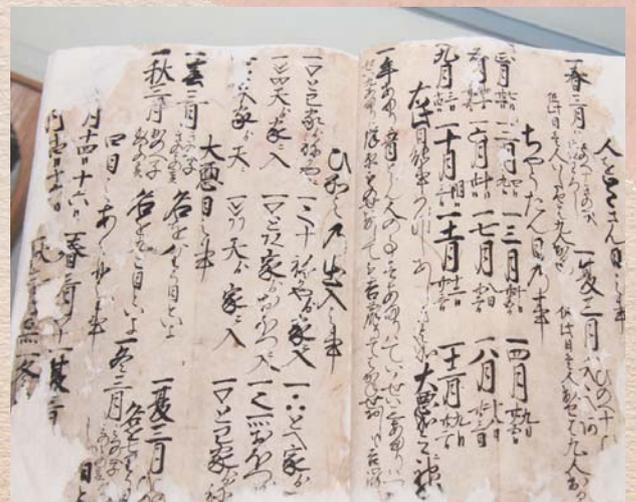


勾玉

後世に語り継ぎたい

町指定文化財②

~草子・勾玉~



貴重とされる草子

今月の花②

～カクチョウラン～



手久津久の本田商店でひかえめに咲くカクチョウラン。同商店で話を聞くと、この花は三十数年前、両親が奄美大島の知人から譲り受け、株分けを繰り返してきた。

栽培のポイントは、通常は山中などに自生するため、風通しをよくすることと、直射日光を当てすぎないことだという。

カクチョウランはラン科の地生種植物。1mを越す長い花茎をまっすぐ上に伸ばして、幅10cmほどの花を十数輪咲かせる。環境省レッドリストに登録され、絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。

喜界歌壇

（みちづれ）
 老いゆくに短歌詠む人は果けなしと 生き甲斐として短歌詠み続く
 折り々に心寄せたる三十一文字 かえり見すればわが生の証
 形変え流れを変えてゆく雲を 見つめる吾は病床にいて
 〈萌葉会〉
 庭飾る花の群生風に揺れ 我を励まし心なごます
 晴天に畑を耕し種を播く 晴耕雨読賢活の世界
 桜月類撫で薫るそよ風に 春の息吹を感じてとれり
 刈り終えて秋植え黍の若芽出て 大きくなれと心を込めて
 庭先の天梅の花一輪咲き 春の足音かすかに聞こゆ
 水温む草木はぐくみ春の雨 傷き立つ野辺のさみどりのなか
 前田 喜代美さんの句に誤りがありました。
 正しくは左記のとおりです。お詫びして訂正します。
 鍋囲み孫と語らふ父母の 言葉がげんと胸に沁み入る 前田 喜代美

有村 道子
 美代 イシ
 平尾 チヨ
 平島 初子
 井澤 紀美子
 前田 喜代美
 豊島 文子
 高田 エツミ
 豊島 瞳

戸籍の窓

こんいちには赤ちゃん

氏名 保護者住所
 吉田 光那・圭志・花良治
 龍田 春翔・勇樹・湾
 福山 幸志・至・志戸桶

ついでにゆめなせいに

氏名 住所
 福島 風 志戸桶
 吉富 千夏 志戸桶

氏名 住所
 喜原 豊 塩湾道
 福永 しおり 塩湾道

ごめい福をお祈りします

住所	氏名	年
花良治	平田 清	92才
志戸桶	竹下 イシ	100才
塩湾道	柏木 俊夫	72才
大朝戸	後藤 幸子	105才
山田	愛津松 太郎	91才
荒木	益田 俊一	94才
志戸桶	浜岡 ハナエ	90才
羽里	春山 隆昌	86才
小野津	上田 トト子	86才
羽里	大村 八江子	74才
志戸桶	岩田 忍	85才
志戸桶	龍田 義郎	86才
志戸桶	東野 ユキエ	87才

社協だより

住住所 氏名

志戸桶	福井チズエ
志戸桶	渡部 福治
志戸桶	丸山 文子
志戸桶	東園 ミツエ
志戸桶	益田 サト
志戸桶	春山 英信
大朝戸	愛津 克浩
小野津	大村 久志
志戸桶	竹下 廣二
志戸桶	岩田 恵子
山田	山崎 文
志戸桶	東野 啓範

喜界町の推計人口

(平成25年3月1日現在)

世帯数・・・3,519戸 (1)
 人口・・・7,750人 (△13)
 男・・・3,756人 (△9)
 女・・・3,994人 (△4)
 ()は前月比

納付をお忘れなく！(4月)

- 【税】軽自動車税 4/30まで
- 【使用料】4月分公営住宅・簡易水道・下水道使用料・保育料 4/30まで

役場 1階会計又はお近くの金融機関で納めてください。納入はお早めに！！

県内の市町村
 広報誌コー
 ナーを設置し
 ました





卒園・卒業式ミニスナップ



喜界小学校



早町小学校

くらしのカレンダー

(平成 25 年 4 月 21 日～5 月 20 日迄)

- 自然コミすこ研修トレ集会
- 自然休養村管理センター
- 役場コミュニティホール
- 旧すこやかセンター
- 役場研修室
- 役場トレーニング室
- 役場集会室兼多目的室

日	月	火	水	木	金	土
4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27
●子宮ガン検診【自然 8:30～・12:30～】	●子宮ガン検診【自然 12:30～・17:30～】	●子宮ガン検診(午前中のみ)【自然 8:30～】	●スポーツ少年団登録説明会【研修 18:00～19:00】	●集団予防接種【すこ 14:45～】 ●社会教育委員の会議・公民館運営審議会【中央公民館会議室 14:00～15:45】	 あゆみ幼稚園	 喜界中学校
4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4
●中央公民館講座合同開校式 ●海開き【スギラビーチ】	昭和の日	 のぞみ幼稚園	●肺がん検診【各集落公民館等】	●資料整理休館日【図書館】 ●肺がん検診【各集落公民館】	憲法記念日	みどりの日 ●第 11 回図書館フェスタ【図書館】
5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11
こどもの日	振替休日	●肺がん検診 9:00～【各集落公民館等】 ●町体育協会理事会・総会【集会 18:00～20:00】	●肺がん検診 9:00～【各集落公民館等】	●肺がん検診 9:00～(午前中のみ)【各集落公民館等】	●体操教室【コミ 19:00～】	●体操教室【コミ 9:30～】
5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18
●町子ども会育成連絡協議会総会・合同研修会【トレ 10:00～11:30】 ●子牛セリ市【セリ市場】	 喜界小学校	●生涯学習推進会議【トレ 15:30～16:30】 ●第 1 期早町小学校移動図書館(1・2・3 年生) ●精神デイケア【すこ 10:00～】	●第 1 期早町小学校移動図書館(4・5・6 年生)	●文化財保護審議会【研修 14:00～15:30】	●2 歳・2 歳児半歯科健診【すこ 13:15～】	 のぞみ幼稚園
5/19	5/20					
 喜界小学校	 あゆみ幼稚園	 喜界中学校	 早町小学校	 早町小学校	 早町小学校	 早町小学校

毎週月曜日は図書館休館日です。
毎週土曜日 14:00～はお話し会(図書館)です。

※行事は変更になる場合があります。ご了承ください。